

議会運営委員会 会議録

=====
日 時 令和7年3月6日（木曜日）
午前9時39分開会、午前10時26分閉会
場 所 第3委員会室

日 程

- 1 開 会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 議長挨拶
 - 4 協議事項
 - (1) 受理番号3 令和6年11月土浦花火大会中止に於ける検証委員会設置に関する陳情書について
 - (2) その他
 - 5 閉 会
-

出席委員（6名）

委員長	吉田	千鶴子
副委員長	目黒	英一
委 員	小坂	博
委 員	勝田	達也
委 員	矢口	勝雄
委 員	田中	義法

欠席委員（1名）

委 員	菅井	歩美
-----	----	----

その他出席した者

議 長	島岡	宏明
副議長	鈴木	一彦

事務局職員出席者

局 長	櫻井	良哉
次 長	元川	宏
次長補佐	小野	聡
主 査	津久井	麻美子
主 幹	高橋	陽平

傍聴者（1名）

男 1名

○吉田委員長 おはようございます。●●様には早くからお越しいただいて、大変遅れましたことをまずお詫び申し上げます。ただ今より議会運営委員会を開会いたします。傍聴はありますか。

（「陳述者1名です」との声あり）

○吉田委員長 では早速協議事項に入ります。本日は当議会運営委員会へ付託されました、新規の陳情1件がございます。審査に先立ちまして、陳情者から意見陳述の希望があり、本日お越しいただいております。それでは受理番号3令和6年11月土浦花火大会中止における検証委員会設置に関する陳情書を審査いたします。委員の皆様は、議会運営委員会、令和7年3月6日開催を準備してください。資料1となります。それではこれより、陳述者の方に意見陳述をしていただきます。陳述者におかれましては、陳情内容から逸脱することなく、概要をお述べください。逸脱するようなことがあれば、委員長の方から注意をいたしますので御了承願います。なお、陳述していただく時間は10分間となります。陳述終了後に陳情の審査に移りますので、よろしく願います。それでは意見陳述を始めてください。お願いいたします。

○意見陳述者●●氏 おはようございます。今日は私のためだけにということで御参集いただきまして、改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。今委員長から御説明ありましたとおりですね、今回の陳情に関してですね、これから10分間で陳述をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。タイトルの下にですねサブタイトルとしてつけさせていただきました、花火の街土浦100年の計と開かれた市政促進のためということで、この検証委員会の設置の目的はですね、例えば今までの執行部なりなんなの、あるいは個人組織、そういったことの特定のところをですね、糾弾するということではなくて、これからの本当に100年あるいは100回大会といったところに向けてどのようにしていくべきなのかということですね、是非市民の目線といいますか市民からのお願いというようなことでもですね、お話をさせていただきたいと思っております。実は議員の方々に関してはですね、非常に直後から真摯に前向きに積極的にお取組いいただき、例えば新しい専決処分に関しても2億3,000万という大きなお金ですけども、それに関しても非常に迷惑かけることのないようにということで早期に取り組んでいただいたり、いろいろなことをですね、私も11月26日の産業建設委員会を傍聴させていただきましてですね、その時にも非常に委員長初め皆様の真摯にですね、正面かそしてきちんといろいろと議論いただいてですね、これからに向かってというお話を伺ってはいるんですけども、是非そこにですねもう1点、市民の目というようなことを入れていただいてですね、是非本当の意味で、花火の街10

0年というものが市民協働な中で作られていく。そのためのきっかけとしてですね、この検証委員会ということをして是非お立ち上げいただいて、その中で様々な議論をしていただければと思っております。本当に今回のことというのは非常にですね残念で、お金のことだけではなくてですね、市政のあり方そのものにも関わるような部分があるのではないかなというふうにも感じております。一つは市民に対する広報というところでも考えてもですね、12月の何日かですね、ちょっと広報広聴課の方にですね、市報土浦にいつ載るのということで僕伺って行ったんですけども、その時商工観光課の担当の方も含めてですね同席いただいておりますのは、市長会見をテレビといますかね、やっているもので、もうそこで十分でしょういう話。それからこれから原稿を作ると非常に遅くなってしまいますので、あまり意味がないですよというふうなことです。それで、市の公式である市報には載せないと、あんまり私よく理解できなかったんですけども、この2億3,000万というお金に関してもですね、ほとんどの市民は知らないですね。私はたまたま先ほど申し上げた11月26日。それからその後のことですね情報をいただき情報を取ることができたので分かってますけれども、そういったことも含めてですね市民への広報活動というところをもう一度、御検討いただければと思います。時間もありませんのでは陳情項目についてですね一つずつ御説明をさせていただきたいと思っております。まず第1点目の陳情事項の議会云々というところですね、今申し上げたとおりのことをございますので、是非改めてですね、仕事に対する取組というところですね、例えば今回の一部の原因になりました、警備員の確保できなかったということもですね、これ普通に考えると有り得ないことなんですよね。逆に言うと、今までのやり方、あるいは前例なのか分かりませんが、そこに気の緩みを含めてですね、ちょっと普段普通では考えられないようなことがあったということだと思っております。ですのでそういったことを、原因をきちんと精査していただいて、新しい仕組みを作っていくという意味でもですね、是非この検証委員会ということをして是非立ち上げていただければというふうにも思っております。直接の議員の方たちも多分実行委員会の委員になってらっしゃるんじゃないかなとは思っておりますけれども、直接的に関わりにはあまりならないと思っておりますので、是非そういう意味ではですね、議員の方の新しい視点、そこに市民の方の新しいシステムを含めてですね、本当に新しい、全国に恥ずかしくない花火の街、それを作っていただくために、是非これ直近の中止のことを云々ではなくてですねこの将来的なことを考えたところで非常に大事なことかと思っておりますので、是非そういったことをできるのは、やはり議員の方々、つまり議会の力があってこそだと思いますので、是非お取組いただければというふうにも思っております。ですので、新たな視点、そこからですね、創造的な実行計画を作っていただきたいということが1点目でございます。2点目としてですね、その補足になるんですけども、花火大会のあるべき姿っていうのがどこにあるのかということも含めてですね、是非検証していただきたいと思っております。こういったことを申し上げて大変失礼ですけども、あるべき姿があって、そこに現実があって、そのギャップをどうやって埋めていくのかっていうのが課題の形成であり解決策ではないかと僕は思っておりますので、是非そういった意味

では、あるべき姿をきちんともう一度考えていただいて現実との差、つまり今回のような問題がなぜ起こったのかというようなことも含めて、そこに課題を見つけていただいでですね、前提した分析の中で、是非100年に向けていただければというふうに思っているのが第2点目ということになります。当然、第3点目のところでですね、中止における費用云々についてもですね、再度御検討いただければと思うんです。それで、この2億3,000万というお金はですね、もう使わざるを得なかったとかやむを得ないとか、やはり関わった方たちに御迷惑をおかけしないということ非常に当然のことだと思います。ただこれが先決で決められた2億3,000万というのはそれはまた逸脱しますので、置いておくとしましてですね、この2億3,000万って非常に大きなお金だと思うんです。ですからこの中身についてもやはり一旦きちんともう一度精査していただく必要があるんじゃないかなと思っています。財政調整基金からの拠出ということですけども、財調のね、年度末の見込みが57億58億ぐらいだったと思うんです。6年度末で、もともとは70数億あったのが、耐震強化ということですけどこれこういうものに使われる当然のことだと思うんですけども、この残りの58億からこの2億3,000万を引いてあげる。そうすると今度2億3,000万って財調の4%ぐらいになるんですね。この2億3,000万っていうお金は、例えば全国花火競技大会の市が出してるお金が8,500万ですから約3年近い経費のになってしまうんですねもっと言うんであれば警備費用って数千万なんですね。だから警備費用を例えばもう1日分余計に計上したとしてもこの2億3000万から比べたら、どうなんでしょうっていう話にもなってきますので、そういった予算組みの仕方についても是非御検討いただきたいというのは、誰がやったからこんな損しちゃったんだっていうのではなくてね、中身をきちんと、例えばこの2億3,000万ってお金御存じでしょうけれども、今年の予算書から紐解いていくと、都市公園等長寿命化事業っていうのが1億5,000万なんですね。それから児童手当支給事業の一般財源の部分が3億1,000万。私立保育園の整備事業が2億3,600万。それから、例えば日本一のれんこんの街ですので、産業推進事業が9,200万等々というふうになっているんです。ですから何が言いたいかというと、一つの大きな事業をふっ飛ばしてしまうような、金額なんですね、この2億3,000万っていうのは。ですので、この中身に関しても本当2億3,000万払わなくちゃいけなかったのかっていうことも含めながらですね、是非将来的な資金の効率的な使用のためにも、もう一度この資金の中、お金の中身についても精査する必要があるのではないかとこのように思っています。最後に4点目として委員会の構成についてですね、是非お願いしたいのが、議会が主導して、そしてそこに有識者それから一般市民も含めてですね、是非新しい委員会ということを作っていただければと思います。先ほども申し上げましたけれども、市民協働の街は市が掲げていますよね。その促進のためにも是非ここに市民の目を入れながらですね、イベントの過去の経験者であるとかいろんな目を入れてですね、是非新たな検証委員会の中での新たな100年の計ということをですね、是非計画していただければと思うんで、これは花火のことだけではなくてですね、やはり開かれた市政促進のためにも非常に、逆に言うと好機ではない

かと。いうふうに思っておりますので、是非そういったことをですねお取組いただければということ。今まで議員の方々がずっとね、取り組んでいただいている中で私がまた申し上げるのは大変恐縮なんですけれども是非一市民の声としてですね、お取り上げいただければと思いますので、私からは以上でございます。御清聴ありがとうございました。

○吉田委員長 審査に入る前に、委員の皆様から陳述者の方に何か聞いておきたいこと等ございますか。

○勝田委員 ありがとうございます。1点だけ確認をさせていただきたいと思います。御発言の中で、陳情の3番の件なんですけど、費用の精査というのは、中止における費用はおっしゃっていただいたと概ねとおりだと思いますが、業者さんに支払うこともそれは適切だろうという御意見をいただいたところなんですけど。その一つ一つの中身がその額でよかったのかどうかというようなことを精査したほうが良いとそういう意味で。

○傍聴者●●氏 そこも含めて精査するべきではないかと思えます。今回の中心に関わるところで一番大きいのは、大きいというか、問題になったのは警備の関係ですからその警備の関係のところにも確か12月、11月に見せていただいた中では満額というか、そのままお支払いになってらっしゃる。例えばそれ以外の項目に関してですね、例えばその2億3,000万の中身って、本当にそれ全部払わなくちゃいけなかったんですかっていうようなこともあると思うんですね。それが一つ。それともとの予算の組み方がいいのか、例えばお弁当を頼んでいます。その弁当の単価はどうなんですか。頼み方はどうなんですかというようなことも、多分ここ何年か、想像でも申し上げて申し訳ないんですけども、あまり精査されていないのではないかと。そういう意味で言うと、今回の中止を受けるものだけではなくて、全体の予算組み、そういったことも精査をしていただければというふうなことでございます。

○吉田委員長 その他ございますか。

(「なし」の声あり)

○吉田委員長 質問もないようでございますので、これから審査に移ります。陳述者の方は後部座席にて傍聴していただくか、あるいは退席をしていただきますようお願いいたします。なお、傍聴する場合は発言を控えていただきますようよろしくお願いいたします。どうも、ありがとうございました。それでは委員の皆様から、ただ今の陳述を含めて出ております陳情に対しまして、御意見ございましたらお願いをしたいと存じます。

○勝田委員 ありがとうございます。陳情者の方のお気持ち。花火と土浦を思ってくださる気持ちというのが非常にありがたく伝わってまいりました。いろいろと御提案をいただいたところでございます。そういった御提案の中で、私今考えたのはいろいろ疑問と御提案といろいろあったわけでございます。そういったことが、私も趣旨としてはよく理解をいたします。このことを担当の委員会は産業建設委員会ですね、それで何度か議論をさせていただいており、また陳情者の方も傍聴に来ていただいて、よくやっていただいたということを御理解していただいているわけでありまして、私今伺ったよう

な内容を土浦市が主催3団体の一つとして、実行委員会に行ってるわけです。土浦市それと商工会議所と観光協会とあるわけですが、実行委員会を作って、最終的にはどうかそこが決めるというシステムの中で、しかしながら、土浦市の予算もこれは使っているわけですから、土浦市の関わり方というか責任というものは、主体的で重いんだろうなというふうにも感じております。中止になったことは非常に残念でありまして、これを第94回大会の来年度ですね年度としては、100周年はもう絶対成功させなきゃいけないという思いは私も全く同じでございます。そういった中ででは成功させるためにということでいろいろと御検討いただいた内容を提言いただいていると思います。そのとおりだと思いますが、この内容に関して私は市でもですね、市というのは担当課ですよ、担当課が実行委員会に上げるにおいて御検討させていただいているというふうに承知を認識しております。具体的なものは実行委員会のことですから、決まる前には市もちょっと言いづらいということもありますので、言っておりませんが、実際の御提言いただいたようなことは揉んでると聞いてます。また産業建設委員会におかれましても、これずっとやってきておりますし、引き続きやっておりますので、私はその中でまずしっかりと揉んでいただきたいというふうに思っておりますし、市がどういったことで揉んで実行委員会にかけるんだという、そして実行委員会でどう決まったというのは市の方から、こういった後ですから、やはり議会の方にも御報告をしていただきながら、私たちもそれをしっかりと確認していきたいというふうに思うので、この検証委員会の設置ということになりますと、産業建設委員会がやっている中で個別組織ができるということになりますし、その委員会の構成が、もう一つの御提案の中で、有識者と一般市民もを入れてはいかがですかというような御提案をいただいているわけですが、議会の中にこの二つの組織を作っていくというのは、ちょっと難しいのかなというふうに思います。どういうことかということ、先ほどの意見と同じなんですけども、産業建設委員会でこれに対しては今対応しているところだと思います。その広報というかですね、結果というか市の考え方、産業建設委員会で行っていることがちょっと市民の方に伝わりてないよという御意見もあるのかなというふうには感じてます。その辺はしっかりとステップを踏みながらですね、やはり確実なところを広く周知していくべきだろうというふうに私も思っております。ただ二つ委員会が立ち並ぶというのはですね、ちょっと構造上難しいのかなというふうには感じますので、趣旨の方はよく理解させていただきましたし、産業建設委員会の方にもよくよくこの趣旨を再度御理解いただきたいなというふうには強く思いますけども、ちょっと別委員会を立ち上げるというのは難しいのかなというふうには思います。しっかりやって議会のほうで受け止めてやってまいりますので、是非そういったことで御理解をいただければというのが私の意見です。

○小坂委員 私も概ね勝田議員の意見には賛同するところでございます。ただ先ほどからもですね、皆さんも多分承知してるとは思いますけど、何でこうなったんだという話。必ず出ます。何でこんなに大きなお金を使ったの、やっぱり何でやめちゃったの。で何でそうなんだという話。これは、一番きつと皆さんが感じなくちゃならなくて、考えなきゃいけないところではないかと思っておりますので、市長と商工会議所、議会と三つで決め

ていくというのが通例でございます。花火大会をやるかやらないか。これはとっても悩ましいところなんです。それはなぜかというところでですね、今回の件と私が経験した時と二つお話しさせていただきます。一つにはですね、今回の当日ですね、大雨が降ると予測です。あくまで予測で降るかどうかは分からないで、その時に、もしやっ、おそらく1週間か10日ぐらい前の話かと思います。みんなそれでどうしようという話になりました、じゃあ雨降ったら観客、河川敷にいる人どうなるの。どうなるかね。みんな考えただけでも恐ろしいですよ。やめた場合どうなるの。栈敷席の分全部お返しします。それから栈敷作ったのも弁当代も全部払うよ。おそらく、来年はわかりませんが、1日でやりますといった時に、また同じお金かかりますね。当然ね、1日でやるとなると予備日無しとすると思います。これリスクが少ないですね。今回の問題でガードマンの問題が出ましたので、例えば1日でやりますと、この日も雨が降りまして、降りまして予想になって辞めますってしたら、栈敷席買った分全部おそらく2億以上かかります。全く同じです。だからそういう予算、最初に組んでおくのっていう話もそれはあります。なぜ、そのお金を払って、そしてですね、ガードマンさんがもう手当できないってそれも分かりました。おそらくもう10日前にわかったね。500人、530名だっけ540名ですね。分かりませんが500人です。500人としましょう。500人の、これなんで500人って妥当なのかどうかってみんなわからないですよ。20年前200人。そのうち交通安全協会150人、あとガードマン50人、それでずっとやってきた。10年、10年以上ね、交通安全協会には今80人しかいません。みんな年取っちゃってできないから。でも、今だに、今だにですね、バイパスの所、誰もいないとこに立ってます。私も30年間ずっと立ってます。だから花火ってあんまほとんど見たことないです。それがね、ガードマンの実態が分かる人がそんなにいるはずがない。だから、例えば次の週やります。500人そろえてくださいって、それはね、現実的にはほとんど多分難しいと思ったから止めるという決断だった。その決断はなぜしたかね。いや、よく考えてください。2億3,000万払っても中止にしますね。もうこれ非難されることはわかってるよね。でも中止にしなきゃならない。中止にしたら、じゃあやったらどうだったんだとね、多分あの雨だったらできないことはなかった。結果としてはですよ。でも予測では、数百人が流されて死にますってという恐れを絶対に抱くはずですよ。その時にどっちを選ぶか。これね、その当事者にならなきゃできない。会社だってそうだよ、潰れちゃう。昔ね、何ていうんだらう要するにトップが決めなきゃなんないね。トップはなぜ決めなきゃなんないかっていうと、会社がどうなるか、つぶれちゃうか、良くなるか。でも責任がある人は決めなきゃなんない。駄目でも前へ進む。で駄目だったらどうすんのか、なんでそんじゃ、中小企業の親父はみんな自殺すんの。倒産してわかる。責任ってというのが重いんだ。市長だって重い、すごく重いんだ。今回これ決断をしたということね。分かりますか。2億3,000万より市民の一般の市民の命を守ったんだよ。これは賞賛されるべき、それだけの決断をしたんだよ。だからこのことをね、私はなぜそう思うかっていうと、2022年、私が議長の時中止しました。コロナで。コロナは2022年の時点ではもう収束し始めてました。下館市は10月の24日そこ

でやりました。土浦。11月の第1土曜日。やるかやらないか私も集まりました。その時に空気としてはもうやらない方向。私はその時言いました。やりましょうよとね。できないことはないし、みんな元気になんだからね。私はそれで最終的に決まってくれと。なおかつ私は賛成したということ記録に残して欲しい。なぜこの決断は正しいかもしれないけど、でもね、やることも正しいかもしれない。だから決断を誰かがしなきゃいけない。でも市長はね、この時に、止めますと結論しました。ただ、今みたいなことにはならない。でもね、誰かが決断しなきゃなんないんだよ。本当にね。やってね。洪水が来てね。あの時に、何百人も流されて死んだらどうすんの。誰も責任取れないじゃん。だから止めたんだよ。そんなことは簡単なこと。そしてね、次の時にガードマンがいなくて、人がいないって今言ってるのよね。本当にいないんだね。だからそんなの、あんなのできたんだよというのは後出しジャンケンなのね。だからそういうんじゃないんだよ。トップっていうのは責任があんだよ。当時ね、当時じゃないな。今こないだテレビで見て、フジテレビのあれ見た時、偉い人がいじめられるのは楽しいねと思うのが普通だね。でもあんまりやると、ちょっと私も見て途中で辛くなった。昔ロッキード事件の時にですね、証人喚問されたある人が署名してくださいって言った時に署名できないのね。緊張の余りに。あれを見た時に、いやすげえ面白いと思ったらね、山一証券がね、泣きながら、会社がもう駄目です、潰れるのを見た時に何で偉い人が泣くのかなと。昔そういうのを買った山一証券の私の知ってる人がいて、あれは本当は部長なんだよ。みんな本当の社長役員は辞めて、あいつを会社を潰すために社長にしたんだと、いやそれはそうかもしれない。でも彼は一生懸命なって。私そのあと10年後だったかな、山一証券の社長の声を聞きました。その時の話と。でトップって本当につらいんだと。私はしみじみ思いましたね。この決断ということをしなきゃならないというね、誰もね、こんなお金使いたくないよ。それを検証するって言ったって、実際の話、あなた当事者だったらどうしますかって、よく考えて欲しいね。これ、後から言うのは簡単よ。あれはこうだった、こうだった。でもね、その時はもう時間もないし決断しなきゃなんないんで。そこんところをやっぱね、ちゃんと組んであげないと。やっぱこれからね、日本はもうそういう時代じゃないと私は感じてます。最近。あんまり人をね、いじめて楽しいのはもう終わり。そんなことやめてね、楽しくじゃなくて、真剣に本当にリスクって何かって考えながら、それをしなきゃね、誰も決断してくれなくなるよ。世の中、その人たち多いね、やっぱ非難したら誰も決断しなくなる。みんな逃げるね。でもそういう社会であってはこれから良くなることはないですから。だから、私は今回のことはいい教訓だと思う。非常に良い教訓。これだけのことを決断されたということは、私は非難されるべきではないと私は思ってます。よろしく願いいたします。

○吉田委員長 ありがとうございます。非常に熱のこもったお話をいただきました。少し何か目の前がですね、私自身のこれは意見という状況になろうかと思うんですけども、本当にトップが決断をするという、そここのところの思いというのは非常に今、小坂委員のお話を聞きながら改めて感じた次第でございます。その他ございますか。

○矢口委員 今日御迷惑をお掛けしてすいません。まず、陳情者のお話とてもよく伝

わかりました。特に花火大会に対する思い、全国に誇れる花火大会にしたいという気持ちは私も一緒であります。その中でですね、市民への正確な情報を周知することが重要というところは本当にそのとおりだと思いました。今回の件で私のところにもいろんな方から御意見をいただいておりますし、きっと他の委員さんも同様だと思います。その中で、やはり誤った思い込みによる情報のせいで今回の中止になったというふうな感じで伝わって、出たわけですね。その意味でも確かにこの市民への正確な情報をどうやって周知するかっていうのは、この花火大会の本質的な部分だけではなくて、とても大事なことをでありますし、これは本当に大きな今後の課題の一つだととらえています。今回の陳情の内容の核となる部分は、今お話になったとおり、検証委員会を議会のほうで主体的に設置して欲しいということであったと思うんですが、この件に関して先ほど勝田委員が上手におっしゃっていただきましたけど、今、産業建設委員会のほうで審議もされて、これから実行委員会がどういう形にしていられるのか注目するところなんですが、また議会で別の組織を作るのはやっぱりちょっとそぐわないのではないかな。まずは実行委員会ですっきりとした検証や、100周年の大会に向けてどういったことをしていくのかというのをきちんと行ってそれを議会に報告いただく。その結果、市民にも十分な周知をしてもらおう、そういったプロセスをきちんとやっていく中で、議会側が横でやる、やるのはあんまり、うまくいかなくなるのではないかなと、そういう気がします。私の意見は以上でございます。

○目黒副委員長 陳情の内容につきましては本当に市民の皆様を代表しての御意見だと本当に伝わってまいりました。伺った上で私も同様な意見も他の方からも聞きましたしまた。別な意見もたくさん頂戴いたしました。本当に市民の皆様から楽しみにしてたっていう気持ちは本当に伝わって参りました。また方や、私もその花火の数日前ですね。防災危機管理課の課長の方にちょっとお話を、状況どうでしょうかという数日前から何回か聞きに行ったんですけども、民間の予報ですかね。ああいったシステムを活用して調べてるけど本当にもう迷ってるんだっていうことを、伺いました。県ですかね、県か国で設置してる推移計のカメラが見れるんですけども、確か前日の状況みたら、本当に水位が上がっていて、これは本当にもしかしたら中止になるんじゃないかなっていうふうな私にもこのカメラ見てて思いました。確か2019年の時の花火大会の時もその前日まで水位を上がったのを思い出しまして、当時ぬかってたっていうのもすごく記憶に残っております、これ本当に安全に運営するのは大変だかっていうふうに思ったのがすごく印象に残っております。先ほど小坂委員がおっしゃってたように、市民の命、安全を守るっていうことを、まず運営する上で前提に、これがもう第1にあった上でそれで皆様に喜んでいただける花火大会が成立するんだっていうのが、非常に思っております。運営する側と見に来ていく側の本当気持ちってのは同じであり、また責任であったりとか、それぞれ違うっていうのが、改めて今回を中止に至ったことについて考えさせられた状況でございます。各委員の方もおっしゃってたように、中止に至って、様々執行部からの説明もありましたし、産業建設委員会の方でも、しっかりと御説明を求めてましたし、議員の方も一般質問等で花火についての質問もすることもありま

すし、検証も現時点ではいろいろと多分もう本当に各委員も聞いてますし、担当の部署でもそういった情報は相当そういった情報はあると思うんですね。今年の100周年の花火大会は本当にもう失敗できないということで、皆さん今まで以上にやられてる準備というか、されてるっていうのが、それもまた伝わってきております。それにおいてですね、現状、また検証、また、委員会ですか、設置っていうことになりますと、また振り出しに戻るじゃないですけど、今成功に向かって進んでいるというところで、またちょっとね、いい意味での何ていうんすかね、この設置にあたっては、いいこともあるかもしれないですけども、実行委員会で、今それでなかなか進めているところと同じ考えなのかなっていう思いもありますので、今回の検証委員会の設置については、現状、私の意見としてはとりあえず必要は現時点ではないのかなっていうのが、私の意見でございます。

○田中委員 今回のこの陳情者の気持ちはすごく私も分かりました。やっぱり土浦を代表するこの花火大会、もう本当に全国の3大花火大会と言われてますので、土浦としては、すごい自慢できるこの花火大会を是非見たいと皆さんを呼んで見せたいっていうのをすごく気持ちにあって、私もいろんな方を招いて誘ったりはしてるんですけど、でも今回この中止とした判断すごく苦渋の決断だったと思うんですね。それは簡単にやめようっていうような形ではなかったと思うんですよ。本来ね、超能力とかがあってやったらこうなった、やんなかったらこうなったっていうのは未来が見ればね、そんな苦労はなかったのかなと思うんですけど、今回本当に苦渋の決断をしたことは、それは本当に賞賛することではないかなとすごく思っております。また当陳情者さんのこの議会内にとすることは、先ほどから話が出てるように、3委員会に分かれてまして、産業建設委員会の担当で、もうすごく何度も何度もこの件に関しては話し合っていたと思います。ちゃんと全員協議会の方でもちゃんと報告も上がってきてますし、その辺はきちんとやってるつもりでございます。またその委員会を立ち上げて、第三者としてというところも、市役所や観光協会、商工会議所などの皆さんで、本当に、我々ではわかんないぐらい、もっと大変な思いをしながら、進めていっていただいていると思うので、あえてまた議会内っていうのは、設置が必要じゃないのかなっていうのがちょっと一つ思います。

○吉田委員長 ありがとうございます。その他、まだもう少しこのことは言っておきたいというようなことがあれば。

(「なし」の声あり)

○吉田委員長 ありがとうございます。皆様から様々な御意見をいただきました。今日このような陳情書が出たということで、こうした機会を改めて設けていただいて、皆様の意見を伺う機会を得たということは、本当に今日ありがたく私は今感じております。そういった意味においてですね、様々な意見がございました。ここで皆さんの意見も出尽くしたようでございますので、この受理番号3についてですね、まず継続審査はないと思いますが、一応継続審査をしていきたいという方がおられましたら挙手をお願いしたいと存じます。

(挙手なし)

○吉田委員長 ないようでございます。それでは、継続審査の申し出はなしということで、まず本陳情を採択とする方は挙手を願います。

(挙手なし)

○吉田委員長 なしということで、つぎに、不採択とする方は挙手を願います。

(挙手5名：全員)

○吉田委員長 全員不採択ということでございます。それではですね。ここで不採択の理由をちょっと確認をしておきたいかなというふうに思います。多くの御意見としては、今現在、産業建設委員会、そちらのほうで粛々と本当に今陳述者の方からもいろいろ様々御提案ありましたけれども、そういったことも含めて、この100周年、令和7年度、本当に市民の皆様喜んでいただけるためには、何がどのように必要なのかということ、私もちょうと委員長からも伺ったり、あるいは委員の皆さんから伺ったりしておる中で、非常にその点を踏まえながら、今取り組んでおられるということで、私自身もそう思うのですが、皆さんからもそちらのほうでやっているの、この二つ検証委員会を設けるということは必要ではないという、そういう意見が大半を占めたのかなというふうに思っております。それからまた、本当に市民の安全、これを守ることが第一であるという花火というね、様々な事故も起きて、途中で止めてしまうというようなこともございました。あるいは天候ということで、今回は最大の皆さんにね、やれなかったというね、市民の皆さんに向けて、ここに書かれているように本当に市民のみならず、全国の多くの方々に非常に残念な思いをさせたしまったということは、本当に共通の思いかというふうに思いますので、この辺でまとめていかなくちゃいけないんですけども、先ほどの一つとそれから、本当に市民の安全を守っていく、そのことをしっかりと踏まえながら、今日の陳述者の御意向を踏まえながら、しっかりと今あるべき産業建設委員会ある、あるいは花火の実行委員会、そういったところでしっかりと検証していただきながら、この100周年の成功に向けて取り組んでいただきたいという、そういう思いの今回の不採択ということの理由にしたいと存じますが、その点でもう一つの点は入れて欲しいというようなことがございましたら、お述べいただければというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○勝田委員 実行委員会の方でこれ検証を進めていると聞いてますので、その検証内容を待ちたいというふうに思います。

○吉田委員長 いずれにしても私どもは議会にですね、そうした検証したことにつきまして、あるいは今後こういうふうに検証を踏まえてこのようにやっていくよというそういったことの御報告を受けながら、しっかりと市民の側に立ち、安心安全に立ち、そこを見ていくということが大事ということをやったり踏まえていきたいというふうに思いますので。その意味を持って不採択ということにはありますけれども、その点よろしくお願いをしたいと存じます。それでは、ただいまのとおり、不採択ということで、この陳情書に対しては不採択ということでございます。なければ、以上ですが、その他、事務局で何かございますか。

○櫻井議会事務局長　ございません。

○吉田委員長　それでは、以上を持ちまして議会運営委員会を閉会します。お疲れ様でした。